

知りたいこと

望むこと



今村 桂子 議員

問 須恵町の受診率は26%。特定健診の実施については、24年度までに受診率65%等その目標値が定められており、その達成状況により25年度以降に国保が支払う「後期高齢者支援金」の納付額が最大で10%加算・減算されることとなっています。高山市は、広報啓発や地域巡回健診・保健指導の実施・6ヶ月後の再評価などで、受診率51%です。

また、12歳以上39歳までの若い世代への健診を行っているため、健康に対する意識向上・予防に繋がっています。須恵町で、広報啓発・各区単位の説明会や健診など、場所や回数を増やすなどの計画は。訪問指導率アップのための保健師の確保は。保健指導の円滑な実施を行うことで予防医療に取り組み、国保の医療費削減にもつながります。住民課との連携・職員の意識向上も必要であるがプロジェクトチーム立ち上げの考えは。町長の取り組みは。

特定健康診査受診率向上・保健指導の円滑な実施は有機農業や食生活改善とタイアップして



保健センターで行われた住民健診の様子

答 中嶋町長 平成22年度は、町内で活動できる保健師が5名となるので足りると思います。ただ、受診率を上げるのは、予備軍を拾い出す結果となります。有機農業や食生活の改善などとタイアップして行っていくことが重要だと考えています。

医療関係として、粕屋中南部は恵まれていますので、目標受診率をクリアするのは厳しいと思います。公民館などでの健診は、健診バスが入れないので、学校なら可能かと思えます。健診対象者を確定することが必要だと思います。



原野 敏彦 議員

問 2008年度に全国公立の小中高が把握した学校内外の暴力行為は、3年連続で増え過去最大の5万9618件となったことが文部科学省の問題行動調査でわかりましたが、特に中学校は約6千件増え、全体の72%を占めています。本町には、須恵町子ども生活規範指導員設置に関する要綱があります。「学校教育の充実の中で」いきいきと学べる教育環境の整備とありますが、現在の町内の学校の現場の状況を説明していただきたい。



昼休みにグラウンドで遊ぶ生徒たち

学校教育の現状は規範行為が改善

答 平松教育長 生活規範指導員の現状としては、66名が活動を行いました。服装の乱れや授業参加などの規範行為が改善されつつあります。9月から須恵中学校においてPTAのお母さんたちに週一回程度、掃除の時間に指導とふれあいを目的に参加していただいています。